

スキップ

No.27

2012年4月1日

J R 東海労働組合

春の闘いシリーズ④

「名古屋で残念な事象が発生し、誤った道から取り戻す」 誤りとは一体何なの？

何が「誤った」のか分かりますか？

標題の発言は、J R 東海ユニオン松尾啓史委員長が新年の挨拶で述べた発言です（2012年2月1日発行の旬刊『ACCESS』319号に掲載）。

「残念な事象、取り戻す」相手とは、昨年10月、J R 東海ユニオンを脱退しJ R 東海労に加入した組合員のことだと思われます。では一体、何が「誤った道」なのでしょう？ J R 東海ユニオン組合員の皆さん、何が誤ったのか分かりますか？

本人は、「何が『誤った道』だ！冗談じゃない！」と怒りを表明しています。松尾委員長、「誤った道」とは何か具体的に答えてみて下さい！

相談して助け合うのが労働組合です！

そもそも、脱退の原因をつくったのはJ R 東海ユニオン役員ではないでしょうか。「何かあってもいつも一人で対処し、J R 東海ユニオン役員に相談しましたが、『自分の身は自分で守れ』と突き返されました」。「自分の身は自分で守る」ことが「正しい道」でなののでしょうか？

労働組合は、組合員を守ることが一番の仕事です。このような体験をした社員は、皆さんの周りにいませんか？すぐJ R 東海労役員に相談しましょう。

松尾委員長、「自分の身は自分で守る」
だったら、労働組合なんて要らないよね。

皆さん、JR東海労HPを見ましょう！

J R 東海労

検索